

みやさぽ通信



VOL. 4

2017年4月1日
<http://www.miyasapo.net>

NPO法人 みやっこサポート

〒662-0032 西宮市桜谷町10番6号 e-mail: kuma@miyasapo.net
TEL (0798)81-5301 FAX (0798)81-5302

皆様の活動へのご理解とご協力、また日頃からの暖かな励ましに心より感謝申し上げます。
お陰様で当法人は、平成28年1月4日の設立から同年12月31日に至る新年度の活動を終え、平成29年には、2月の総会、各省庁への報告等も滞りなく行い、平成28年度を無事に終了することができました。そしてこの2年目は更に前に進むべく、酉年らしく飛び立ち、活動を進めております。活動の柱の一つである交流支援においては、協力者が安定してきた「つどッテ西田公園前」での活動の和をさらに広げ

充実させていくこと。

また、もう一つの柱である情報支援については、当法人のホームページをリニューアルすると共に、高齢者事業所の情報収集、ポータルサイトの構築計画を着実に進めております。

今年はこのポータルサイトを軌道に乗せる大きな節目の年になります。皆様にはさらなるご理解とご協力をいただきますように心よりお願い申し上げます。

NPO法人みやっこサポート
理事長 中島 恵美



NPO法人
みやっこサポート

〒662-0034 兵庫県西宮市西田町6-4 夙川サンらいふ 

参加のお申し込み

ご意見・お問い合わせ

NPO法人
みやっこサポートとは？

私たちの仲間

寄付金・賛助会員の
受付

みなさんの声

 トップページ

みんなで作る みんなでわらう

いろいろな困ったに応える情報支援
ささえてネット

生きがいづくりのための交流支援
つどッテ・こぞッテ・らぼッテ

いま必要なサポートをお届けする
介護支援・生活支援



**高齢者福祉・
介護関連サイト**
ともにいきるネット

準備中



**子ども・子育て
支援サイト**
ともにほぐむネット

準備中



**障がい者
支援サイト**
ともにあゆむネット

準備中



**生活
支援サイト**
ともにほほえむネット

準備中

※平成29年2月25日に「みやっこサポート」のホームページをリニューアルオープンしました。今年は、内容をどんどん進化させ、皆さんのお役に立つサイトを目指します！
みやっこサポートホームページ⇒ <http://www.miyasapo.net>

これまでの活動

H28.11.1~H29.3.31



みやサポ「こそッテ！」

○手話でコミュニティ！

▶手話キャスター（講師：岡本かおり先生）

1/16、2/13、3/13

▶ビデオで復習…

2/22、3/6、3/27

○英語でコミュニティ！

▶Misaki クラス（講師：池本美咲先生）

11/28、12/19

▶Misaki & CB クラス

11/7、11/21

▶CB クラス 英会話（講師：Mr.Charlie Brown）

11/14、12/5、1/16、2/13、3/6

▶CB クラス 英語でミュージック（講師：Mr.Charlie Brown）

2/20、3/20

○韓国語でコミュニティ！（講師：山城淑子先生）

2/7、2/21、3/7、3/21

○中国語でコミュニティ！（講師：原田奈津美先生）

3/3、3/17

○健康太極拳（講師：松田アツ子先生）

1/11、1/25、2/8、2/22、3/8、3/22

○絵画教室（講師：勘里貞子先生）

2/15、3/29

○みやっこサポート特別企画 2/27

子どもの能力アップ講座（講師：大森早苗先生）



～みんなの声～（各教室に参加された方にいただいた感想をご紹介します。）

○とても身近なことを楽しく、わかりやすく教えてくださるので、面白いように体に入ってきた。（手話）

○ネイティブの先生が丁寧に教えてくれて、お話ができるので嬉しい。（英会話）

○韓国の言葉だけでなく、いろいろな韓国のことが聞けるので楽しいです。（韓国語）

○先生がとても明るく楽しかった。中国の文化について聞けてよかった。（中国語）

○家ですぐできそうな具体例をたくさん教えてもらえたので、早速やってみたいです。

（子どもの能力アップ講座）

♡♡♡♡♡ご参加いただきありがとうございました！♡♡♡♡♡

年金のおはなし

社会保険労務士 中井事務所 櫻城 美幸（西宮市在住）

今日は、みなさんに身近な「年金」について少しお話ししますね。

「年金」というと、どんなイメージをお持ちですか？

「年を取ってからもらうもの」というイメージの方が多いと思いますが、年金には大きく分けて3つの種類があります。



- ☆老齢年金・・・年を取ってお仕事を辞めてからもらう年金
- ☆遺族年金・・・一家の大黒柱が亡くなった時に家族がもらう年金
- ☆障害年金・・・けがや病気のために障害を負ったときにもらう年金

これらの年金をもらうことは、国民の権利です。もらえる条件がそろえば、「請求」をすることで受給することができます。ただし、その権利を得るためには、保険料を納付する義務があります。つまり、毎月保険料を納める必要があるということです。皆さんが毎月払っている年金がこの保険料にあたります。

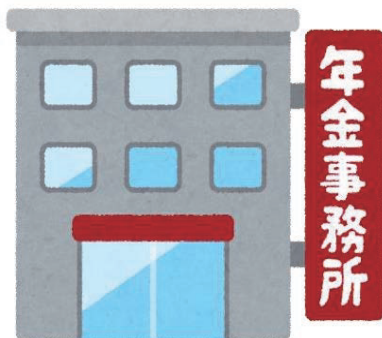
よく、「将来もらえるかわからないから払うだけ損」という方がいますが、けがや病気はいつ起こるかわかりません。最近は心の病気にかかる方もたくさんいらっしゃいますよね。

また、日本は世界でも長寿大国として知られていますが、長生きもリスクの一つと言われています。日本人の平均寿命をご存知ですか？男性が81歳、女性が87歳です。今後も、医学の発展とともに、平均寿命もさらに延びていくとも言われています。

それから、働き盛りのお父さんが亡くなってしまったときは、遺された家族のことが心配ですよね。今は女性も働く時代ですから、お母さんの収入も家計を支えています。そのお母さんが亡くなってしまったら、収入が大きく変わってしまうことも考えられます。

こうした様々なリスクに備えるのが「年金」というわけです。

そう考えると民間の生命保険と似ているかもしれませんね。民間の生命保険には加入義務はありません。また、いつでも解約することができます。そのため、年齢や毎月の保険料の金額などによって、受け取れる補償の大きさがひとそれぞれ違います。一方、公的年金は加入義務があり、すべての人が条件を満たせば年金を受け取ることができます。



年金は、「年を取ってからもらうもの」というだけではなく、一家の大黒柱がなくなったとき、けがや病気のために障害を負ったときにも給付を受けることができる保険制度なんですね。年金は、国が運営している強制加入の保険制度といっていいでしょう。自分が加入している保険制度を知って、しっかりと不確定な将来に備えておきましょう。



現在、日本のモビール作家の第一人者としてご活躍されているいろけんさん！連載第1回めの『いろけん危機一髪！』に続いて、3回シリーズの第2回めは、『イラストレーター時代』をご紹介します。

≪連載 第2回≫

『エピソード3』

実は…絵を描くの苦手なんです！』

絵は誰にも習ってなくて、イラストを描き始めたときも我流でした。実は絵を描くの苦手なんですよ。小学校の頃の写生大会とかも鉛筆で描くところまでは一生懸命やるんだけど、色塗りが苦手で山も樹も全部おんなじ緑や茶色で塗っておしまいみたいな。だからよもや自分が絵の仕事をするなんて（笑）

大阪のR社に全部ペン画白黒の絵を持っていたときに、色をつけないと仕事がないと言われて色を付けたんです。それまでは何で色をつけたらいいのかも知らなかった。コピックというマーカーがイラストレーターの人が使う画材だと編集者に教えてもらったぐらいでした。そのときは自分が売り込みをしているという感覚もなく、とにかく人に見せたいという思いだけで出版社に持って行ったんです。

当時このR社について何も知らなくて、ただいつも買っていた求人誌にイラストが載っていたので、「ここならイラストを見てくれるんじゃないか？」と思って背表紙の編集部の電話番号に電話して行ったみたら、でっかいビルがドーンとあって、「ああ間違えた」と思いましたね

（笑）。今さら断るわけにもいかなくて入ったら絵自体は面白がってくれて、「ちょうど今一つコーナーが落ちてるやつがあるからやりませんか？」って。それがカラーのイラストだったんで、帰りにロフトに画材のコピックを買いに行ったんです。1本380円と高くて、肌色と赤と

青と黒は家にあるマジックでいいわって3本くらいしか買わなかったです。それが初仕事。なんとか塗れたんですけどすごい不細工な色で、子どもでももうちょっと上手に塗るやろ？て感じてました。でもそれを持っていったら掲載されたんです（笑）。

その後、編集者に「今度、長年やってるコーナーのイラストレーターを新しくしようと思ってるんだけどやりませんか？」って言われて…。それは嬉しかったんですけど、そのコーナーは求人ページより先に見るくらいすごく好きなイラストレーターさんのコーナーで…。「その人に代わって僕がやるの？」と複雑な気持ちでした。

今までは人ばかり描いていて、背景や風景を描くのも苦手だったのに、これが1コマ漫画をつくる一番最初の仕事で、それから6年くらいやらせてもらいました。このコーナーは、“あるテーマの読者の面白ネタ100人分が載る投稿ページ”で、そのコーナーのメインイラストになる1コマ漫画を描く仕事だったんです。出版社からタイトルだけ送られてきて、一応その百人よりもおもしろいのを描かないとあかんです。一生懸命ひねり出して、なんとか締め切りに間に合うようにやるんですけど、「没です」って言われることもあって。担当さんが5人くらい関わっているんですけど、担当さんの笑いのツボにはまらないとダメなんですよ…。読者がどうこうじゃなくて担当者の判断ですね、7本も没だったこともあるんです。

最終的に小学生男子が言うようなこと描いて「これおもしろい！」ってなることもあって「うそでしょう？」って感じてました。（笑）

『エピソード4』

イラストレーターブーム！いざ東京へ！』

もらった仕事なので描いてましたけど、当時は行き詰まりだらけでした。「色塗りもできません、風景も描けません」とは言えないので、練

《プロフィール》 イラストレーターとして活躍中に偶然出会ったモバイルに衝撃を受けモバイル作家に転身。日本のモバイル作家の第一人者。西宮在住。

習してなんとか仕上げて届けていました。それでも許されていたのは、当時イラストレーターブームが沸き起こっていて、イラストレーターが歌のCDを出すくらい異常に持て囃されていた時代だったからです。

僕がやってた関西紙のコーナーが全国版に掲載されることになったので、「それなら東京に出よう！出版社の数も多いから、もっと仕事が取れるだろう」って引っ越したんです。東京は確かに出版社の数は多かったんですけど、イラストレーターの数も尋常じゃないほど多くて結局仕事の取り合いになってたんですけど、R社の仕事も続けながら、それなりに有名な雑誌の仕事もしていました。

当時、カメラマンやダンサーとか関西の仲間も東京に行っていて、東京で活動している友達がワァーと増えていったんです。そこに「雑誌にイラストを載せてるイラストレーターが関西からやってきた！」ってことで（そんな話になってるとは知らず）、行ったとたんに関大で勉強している学生に「自分の絵を見てほしい」って、すごい分厚いスケッチブックを渡されたんですよ。1 ページ目を開けたら「これは何千万する絵なの？」っていうようなのがあって。みんな色も上手に塗ってて、「専門学校に行ってます」「将来はアニメーターになりたい」とか言うものすごい上手い子たちが、「絵の評価してほしい」って言うんです。だけど、デッサンすらやってなかった自分が何も言えないでしょう？とにかく「このまま出版社持って行きなはれ！」と追い返しました（笑）

それがずっと続くとプレッシャーがものすごいんですよ。「自分はこんな絵を描いてお金をもらって、この人たちはこんなに描けるのにお金に還元する手段を知らない。何だこれ？」て。あんまりすごいものを見せられてこれはアカンと急に思い立って、こっそり一年くらい本買いあさってデッサンし始めました。タッチもいろいろ変えたりしたんですけど全然描けないです

よね。頭にあるイメージが紙の上に出ないんですよ。いわゆるスランプに落ちたということですね。すごい悩んで悩んで「あかん！これは環境が悪いんや！絵を描き始めた頃は、歩いて海にも山にも行ける環境で、面白いものが描けていたんやから、関西に戻ればまた描けるやろう」と戻ってきたんです。東京の連載の仕事はやってましたけどいいアイデアが全然出なくなってダメでしたね、。

関西に戻ってきたときに、「こっちでも何かしら売り込みをしないと」と思って、最初に行った所で、「今、関西はイラストちゃうねん」と言われてよく見たら、今までのイラストコーナーが全部写真に変わってたんです。「イラストのブーム終わってるんや。第一線でやってるような人たちは大丈夫だけど、自分の技量ではここのまですな…」て思ったら、ちょっと悶々とし始めて「何か新しいことせなアカン、じゃあ何をしよう？」

「何か動かしたら違う表現ができるかもしれない！」って考えるようになっていったんです。

天性の才能か？絵を描くのが苦手と言いながら、有名雑誌のイラストレーターとして活躍していたいろけんさん。新天地として向かった東京でのまさかのスランプ！逃げるように戻った大阪で突き付けられた現実と向き合い、暗中模索し始めたいろけんさん！

次号、連載第3回最終章は、いよいよ『日本のモバイル作家誕生秘話』へと話は続きます。



『まなび～交流活動を通して～』

NPO 法人の活動の一つとして、NPO、NGO、企業、行政など他団体と交流し、さまざまな情報や意見交換をする場に参加することがあります。その中から 2017 年に当法人が参加した催しについてご報告いたします。

『HYOGON 賀詞交歓会 2017』



1 月 12 日、兵庫県福祉センターにおいて、ひょうご市民活動協議会（HYOGON）主催の『賀詞交歓会 2017』が行われました。

みやっこサポート代表の中島、副理事長の井上、中村も参加し兵庫県内で活動する NPO/NGO だけでなく、企業や行政、個人の方々など、総勢 153 名が集まる大盛り上がりとなりました。各団体の理念や活動内容を発表するコーナーもあり、名刺交換も盛んに行われ、事業の協働や資金の相談をはじめとするコラボレーションの話に花が咲きました。

川北秀人氏講演『小規模多機能自治と行政・NPO に求められる進化』

2 月 1 日、川北秀人さん講演会『小規模多機能自治と行政・NPO に求められる進化』に参加しました。みやっこサポートからは代表の中島、副理事長の中村、理事の長尾の 3 名が参加しました。

（講演の概要）

●日本には 2 つの高齢化があります。ひとつは、『人の高齢化』。もうひとつは、『インフラの高齢化』（昔建てた橋やトンネルなどの高齢化）です。18 年後には 10 人に 1 人が後期高齢者になるそうです。「一人の働ける年代の人が、一人の高齢者の人を支える時代」に入っていきます。

●未来を数字、金額に具体的に出すと、驚くどころか息をのむ数字でした。高度成長期時代に建てられたマンションが、橋が、高速道路が、トンネルなどの寿命が終わろうとしています。つまり日本の未来を語るには、インフラの高齢化と高齢者の生活のこと抜きでは語れないのです。各自治体により問題点は異なりますが、早く進めていかなくてはなりません。日本海側の地域はすでにそんな問題を抱えいて、地域で住民を含め自分達の力で取り組んでいます。

●神戸市だけではなく、西宮市にもあてはまりますが、マダラに問題がやってきているので実感し難い状況です。問題は、市民が誰かがやってくれるという意識です。国、都道府県、市が市民を助けてくれるという意識を変えて、「自分たちでやらなければ」と、既に取り組んでいる地域から学ぶことが必要です。

○自治体がイベントばかりやってる場合じゃない！

○自分のやりたい事やってるのはサークル。NPO は地域に必要なことをしなくてはならない。

○個人情報保護法の勘違い。などの指摘もありました。

この講演会の良い点は、身近な自治体の例を使って学べたことです。北海道の浦幌町、沖縄の那覇市、島根の雲南市の具体的な取り組みは希望に見えました。西宮市民もいま一度、未来を考えなくてははいけませんね。今回の講演会では 20 年以上の活動から語られる川北さんの言葉に、絶句と笑いと涙が感じられるとても深い 1 時間半でした。





みやサポ「つどッテ！」



○みやサポ café～恵びす珈琲～ >>>> 1/9、2/11、3/11

○癒しの金曜日

“ネイルワークショップ” >>>> 11/4・18・25、12/9・16、
1/13・20・27、2/3・10・17・24、3/3・10・24

“ルームスプレーワークショップ” >>>> 11/11、3/10



『みやっこサポート』を支える集まり！



○運営委員会

2016/12/28（水） 於：みやサポ「つどッテ西田公園前」事務所

○平成 29 年度理事会・通常総会

2017/2/25（土） 於：西宮市男女共同参画センター415 学習室



○ MSS個人会員（賛助会員）： 年会費一口 3,000円

みやっこサポートの目的に賛同し、応援する会員

○ MSS団体会員（賛助会員と同じ条件）： 年会費一口 10,000円

みやっこサポートの目的に賛同し、応援する団体会員

○ JOB会員 ： 会費なし

ボランティア活動で応援する会員

《会員の申込み方法》

○ 事務所で直接申し込む

平日の 10 時～16 時の間に、事務所にて受付しています。

○ WEBで申し込む

ホームページの会員募集からお申込み下さい。

⇒ <http://www.miyasapo.net>

○ FAX・郵便で申し込む

入会申込書にご記入の上、お申込み下さい。

みやっこサポートの活動を、
ご寄付で応援してくださる方
を募集しています。ご賛同い
ただける方は下記口座へお振
込みをお願い致します。

会費・ご寄付の振込先



三井住友銀行 西宮支店 普通預金 8719542

NPO法人みやっこサポート 理事長 中島 恵美

(エヌピーオーハウジンミヤッコサポートリジチウナカシマ エミ)



ゆうちょ銀行 記号14330 番号89140031

NPO法人みやっこサポート

(エヌピーオーハウジンミヤッコサポート)

※他銀行より振込む場合は

店名：四三八（ヨンサンハチ）

店番：438 普通預金 8914003

◎ 振込用紙には、必ずご本人氏名・住所・電話番号をご記入下さい。

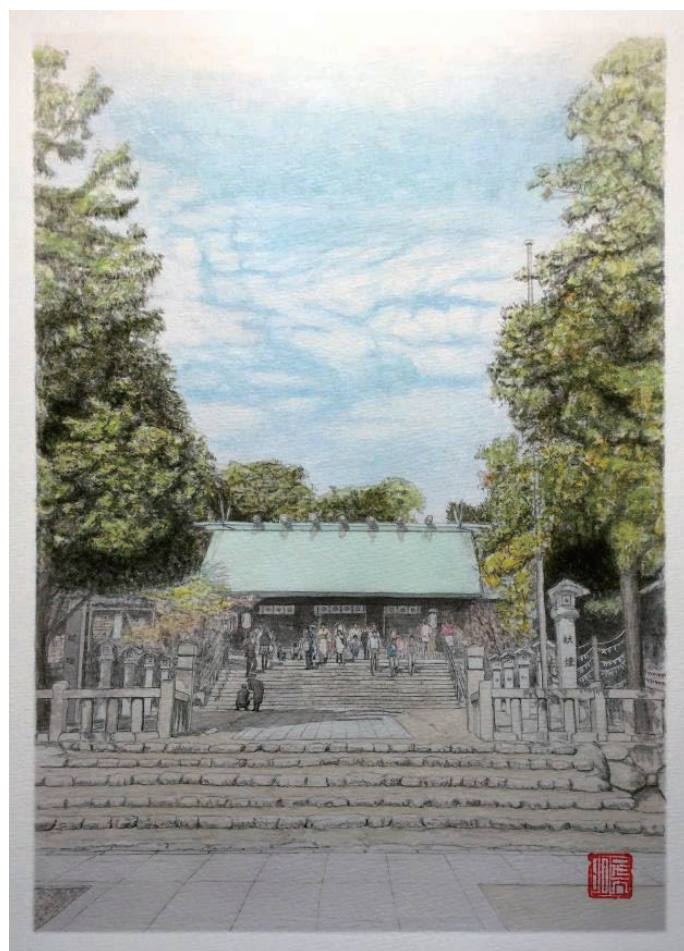
◎ 会員希望の方は、必ず会員申込みをお願い致します。

広田神社は西宮市の南部、西宮神社からは北約二キロ半ほどの場所に位置します。同じ市内にある西宮神社が商売繁盛の神様である「えべっさん」をおまつりするのに対し、広田神社は天照大神（あまてらすおおみかみ）の荒魂（あらたま）・住吉神（すみよしかみ）・八幡神（はちまんしん）・建御名方神（たけみなかたのかみ）・高皇産靈神（たかみむすひのかみ）の五柱の神々をおまつりし、国家鎮護・天地自然・立身出世・武運長久に靈験あらたかな神社として知られています。昭和 11 年の結成以来、阪神タイガースも優勝祈願に訪れています。

広田神社が西宮に創建されたのは遙かむかし、そのいきさつは奈良時代に編纂（へんさん）された日本最古の歴史書『日本書紀』（720）に、神功皇后摂政元年（201）、皇后が新朝鮮半島からの帰路、神からのお告げを得て天照大神の荒魂（あらたま）を鎮めるため武庫の広田におまつりしたと記されています。平安時代十世紀になると法典を編纂した『延喜式（えんぎしき）』に朝廷からお供えをたまわる神社の一つとしてあげられています。

当初は六軒の東、高隈原（たかくまはら）といわれる高台にあったといわれます。高隈原の場所は五月ヶ丘といわれますが。確定されていません。奈良時代以前、西宮の海岸線は今よりもずっと北に入り組み、現在の国道 171 号線の越水から中央体育館のあたりまでが入江になっており、広田神社は海岸から近い高台に、甲山を背に建っていたと考えられています。河川の運んだ砂によって海岸線が現在の西宮神社の南まで下がっていき、室町時代には広田神社も高台から御手洗川の流域の平地に移っていたのですが、川の氾濫による被害が増え、それを避けるために江戸時代の中期、享保 9 年（1724）に御手洗川の右岸である現在の場所にうつりました。

広田神社には本宮のほか、浜の南宮（なんぐう）といわれる別宮が西宮神社の付近にありました。広田社の本宮と南宮には都から多くの人々が参詣



（絵：足立 明）

に訪れ、また和歌会が開かれたりしました。剣珠（けんじゅ）といわれる宝物があり、「西宮」や「剣珠」といわれる謡曲も生まれました。それにまつわる様々な不思議な話が残っていますが、それは次回にお話ししたいと思います。

浜の南宮には市がたち、同じ場所に祀られたえびす神の信仰が盛んに成るとともに、賑わいの中心は広田神社本宮から現在の西宮神社の門前へと移り、街道筋も変化し、近世になると西宮神社の周辺が繁栄するようになります。西宮はその名称に「宮」という文字が含まれているところから、神社と縁の深い場所と気づかれる方も多いと思います。そして現状からはえびす神を祀る西宮神社によると思われがちですが、実は広田神社とその周辺、そして南宮のあった現在の西宮神社の付近を含めた広い地域を指した総称に由来するものであったといわれています。